



新型インフルエンザ対策



世界中で大流行の恐れのある「新型インフルエンザ」。感染が拡大すれば日本だけで数百万人～数千万人が感染し、最悪の場合 60 万人が死亡するといわれている。この恐ろしい感染爆発に向けての対策は??今、私たちにできることは・・・

今、感染爆発(パンデミック)が起こる可能性が最も高いのは新型インフルエンザです。人類のほとんどが免疫を持っていない新型インフルエンザでは、容易に人から人へ感染することでパンデミックが引き起こされ、その結果、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響が懸念されます。また近年では、SARS の脅威や感染性胃腸炎、麻疹(はしか)などの流行もありました。

当院の対策

そこで当院では、インフルエンザやノロウイルス、その他の感染症対策として外来に「観察室」を設置しました。これは、まず感染症の疑いのある方を速やかに観察室に案内し、その場で診察・治療を行うことで他者との接触を最小限に抑えることを意図しています。これまでも咳痰があり

38 度以上の熱発者はこの部屋を使用してきましたが、今後はモニターを設置することで、観察がより徹底されるようしていきます。また、当院の感染委員会では、新しい問診表や対応マニュアルを作成し、それに添って職員が行動できるように周知徹底を図りつつ、その一方で、対応する職員を保護するため、防護具・マスク・手袋等を常備した。

感染爆発

職員全員で、パンデミックが身近に起こる可能性があるという意識を高める為に NHK で今年放映された『感染爆発』を鑑賞しました。このドラマは、日本海のあ



ドラマ『感染爆発』より

る寒村(与田村)で 2008 年 11 月に新型インフルエンザの患者が相次いで確認されるという内容です。『村の老医師(佐藤慶)の必死の奮闘と東京勤務医(三浦友和)の息子との葛藤を演ずる中、都心にも病気が発生する・・・』

「うがい・手洗い」を徹底し日頃の食生活や睡眠不足に注意して自分自身の予防策を万全にしておくことが肝要かと思えます。皆さんも一度真剣に考えてみて下さい。

歳を重ねるといふような病気に罹ります。私自身 3 年前は廊下で転倒し、骨折した。そして、昨 3 月早朝 4 時頃。何となく胸焼けを覚えてまどろんで居ましたが、7 時ごろ天井のスプリングラーが右から左に繰り返し回転し、突然の嘔吐でした。ただ事ではないと狼狽しましたが、一方冷静な自分が居て、耳は聞こえるか?手足は動くか?と自分で自分を観察していました。嘔吐で脱水状態だったため点滴が五臓六腑に染み渡り、ありがたいと思えました。しかし、ストレッチャーで運ばれた時はとても恥ずかしいと思

院長一言

眩暈

うなど、病人に成り切れませんでした。こうした病気をして、他人に起こることは自分にも起こる、という事を改めて身に凍みました。また、息子から前庭神経炎という病名を付けられるなど、自分で自分を診断することは難しいとも感じました。

介護職員の低賃金と離職が社会的問題となつている中、6 月 5 日に厚労省の隣にある

介護職員の生活を守ろう!

日比谷公 0 億円の社

園野外音楽堂にて三千人の老健職員の緊急集会が行われた。発端は埼玉県の男性職員が「自分の給与では普

通の生活ができない」との訴えに対し、全国から 166 万人の署名が集まったことに

よる。220 億円の社会保障費削減の撤廃と老健への正当な評価を求める集会宣言となった。(加藤マネジャー)

